

# 平成29年度 事業計画 (概要)

学校法人大阪産業大学

# I. はじめに

---

私学を取り巻く環境は、少子化、グローバル化等の進行により一層厳しさを増しています。一方、政府の「教育再生実行会議」では、大学における教育改革をはじめ、ガバナンス改革、高等学校教育との接続、入学者選抜の在り方、地域創生に向けた役割など様々な内容について提言がなされています。

こうした状況の中、多くの私学が積極的な教育改革を進めていることはご承知の通りです。本学園におきましても、建学の精神である「偉大なる平凡人たれ」のもとに、独自の取り組みを実践することによって広く社会に貢献する学生・生徒を輩出する使命に基づき、正に「真の学ぶ力\*」を培うための教育改革に取り組んで参ります。

そこで、平成 29 年度の事業計画におきましては、グローバル化が急激に進む社会において活躍できる人材を育成するため、各機関（学校）において国際化に向けた教育の推進やアクティブ・ラーニング及び ICT における教育環境の整備を行うほか、キャリア教育・支援等についてもこれまで以上に充実したものにします。

また、学園経営におきましては、学園財政支出改善計画を確実に実行すると共に、学園創立 100 周年に向けた長期ビジョンの策定にも着手致します。

その上で、これら平成 29 年度事業計画(P)について、教職員が一丸となり、実行(D)、検証(C)、改善(A)に取り組むことにより、本学園の長期的発展の基盤を構築し、社会の変化や地域・産業界からの多様な要請を踏まえた実践的な教育に応える学園運営を推進して参ります。

\*「真の学ぶ力」とは

知識・技能を駆使して、失敗を恐れず積極的に実践し、失敗から原因を分析して次につなげる経験を積んでいく体験型・課題解決型の学習を通じて培う力。～教育再生実行会議（第八次提言）より～

## II. 新たな取り組み

### ■ 大阪産業大学

---

1. アクティブ・ラーニング（大東市、地元企業と連携した教育・研究を含む）の推進
2. アクティブ・ラーニング推進のための教室設備の充実を行う
3. 大学の品格と学生のプライドを意識して、適切な広報活動を行う
4. グローバル人材の育成、海外研修プログラムを充実させる

### ■ 大阪産業大学附属中学校・高等学校

---

1. 大阪産業大学の新学部・新学科の設置を受けて、生徒・保護者への広報を強め進学者の増加を図る
2. 近隣施設の協力を得て「保育実習」「介護体験」等キャリア教育を実施する

### ■ 大阪桐蔭中学校・高等学校

---

1. 平成 32 年度入試に向けて ICT を積極的に活用した教育を推進する
2. 国際的な感覚を育成するための英語 4 技能（聞く・話す・読む・書く）習得に向けた教育を推進する

### ■ 法人本部

---

1. 「学園財政収支改善計画」に基づき財政健全化に向けた取り組みを実施する
2. 「学園創立 90 周年(平成 30 年)記念事業」への取り組み及び 100 周年を見据えた長期ビジョンの策定を推進する
3. 「大阪産業大学環境マネジメントシステム (OSU-EMS)」を推進する
4. 事務職員を対象とした新しい人事制度を導入する

## Ⅲ. 重点施策

### ■ 大阪産業大学

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」のもと、社会人として大切な教養や倫理観を養い、基礎学力を踏まえた幅広い専門知識を修得し、自らが主体的に学ぶことによって、感性豊かで問題解決のための応用展開能力を持った実践的な人材を養成します。

また、地域社会や産業を牽引していくような、独自の・個性的な研究を積極的に推進することにより広く社会に貢献します。

特に大学の特色として「学生の『生きてゆく力』を涵養するための教育の充実」、「『大学が好きになる』気持ちが生み出せる環境の構築」、「グローバル化に対応する学生の育成」に力を注ぎ、「誇りを持てる大学」へと発展させていきます。

具体的には、アクティブ・ラーニング等の新しい教育手法を積極的に取り入れ教育力及び研究力を高めていきます。また、充実した学生生活が送れるように学生支援、教室・アメニティ施設の充実を行います。

#### 1. 「学生の現代社会で生き抜くための力」を涵養するための教育の充実

入学する学生、その保護者の最大の願いは、大学教育を通じて、卒業後、社会で生きていく力が養われることであると認識して、人生を設計していく姿勢と能力を身に付けるための教育を充実させていく

- (1) 大東市、地元企業と連携した教育を実施する
  - ①大東市と連携したプロジェクト教育～地元・大東で育む
  - ②ゼミ単位で地域の企業などとのアクティブ・ラーニングへ向けた活動を行う
- (2) アクティブ・ラーニング推進のための教室設備を充実させる
  - ①16号館アクティブ・ラーニングルームにPCを導入する
  - ②15号館演習環境ならびにアクティブ・ラーニング環境を整備する
  - ③5号館、7号館、9号館小教室及び演習室視聴覚設備を改善する
- (3) 初年次教育の充実及び離学への対策を行う
  - ①1年次ゼミナールにおけるアクティブ・ラーニングを実施する
  - ②初年次学生交流事業を行う
  - ③各学科で責任を持って初年次教育の充実及び離学者への対策を実施すると共に、大学として各学科で実施する離学者対策の支援を行う
- (4) キャリア教育を充実させる
  - ①効果的なキャリア教育の在り方を検討し実施する
- (5) グローバル人材の育成、海外研修プログラムを充実させる
  - ①ファッションビジネスコースにおいてグローバル人材教育を行う
  - ②国際学部における留学支援を充実させる

- ③国際交流等のための夏季休暇時の短期的学生派遣事業を行う
- ④語学研修先の開拓、JSAF(一般財団法人日本ステディ・アブロード・ファンデーション)の活用等を行う

## 2. 教学改革の推進による教育・研究の充実に向けた活動

- (1) 自己点検・評価体制を推進する
  - ①大学基準協会から認証評価時に指摘された事項の改善を行うと共に、教学改革による内部質保証を推進する
  - ②各学部、学科及び個別分野ごとに PDCA サイクルの構築による自己点検・評価体制の強化を図る
- (2) 自己点検・自己評価を踏まえた教育改革を実施する
  - ①文部科学省「私立大学等改革総合支援事業（タイプ 1：教育の質的転換）」の採択を目指す
  - ②全学的な教学マネジメント体制を構築し教育の質向上を図る
- (3) 学長の裁量費を設け、大学の教育改革を促進する
  - ①公募により教育改革に取り組む教員・組織を財政的に支援する
- (4) 大学ブランディングに向けた広報活動を実施する
  - ①大学の品格と学生のプライドを意識して、近畿圏 JR 車両内への交通広告を行う
- (5) IR（インスティテューショナル・リサーチ）データ解析を推進する
  - ①学生の入学前の成績データ、入学後の成績データ、卒業後のキャリアデータなどを一括したデータベースを構築し、教育力の向上へ繋げる

## 3. 充実した学生生活を送ることができるように学生支援、教室・アメニティ施設を充実

- (1) 学生との連絡方法を改善する
  - ①大学電話回線をデジタル化する
- (2) 学生生活における環境改善とアメニティ施設を整備する
  - ①キャンパス環境の改善及び学内分煙啓発活動を推進する
  - ②学生食堂やトイレ等の設備を改善する
- (3) 大学施設の維持及び教室設備の改修を行う
  - ①16号館演習室机及び椅子の改善を行う
  - ②16号館教室視聴覚設備の改善を行う
  - ③大教室視聴覚設備の改善を行う（4号館、7号館、8号館の5教室）
  - ④実験室等の機器の改修を行う
  - ⑤7号館北面補修工事を行う
  - ⑥学内空調機改修工事を行う
  - ⑦高圧ケーブル、高架水槽工事等を行う
  - ⑧消防設備更新及び保全整備作業、フロンガス法定点検作業、受変電設備精密点検作業等、法令による作業を行う

#### 4. 就職支援の充実

- (1) インターンシップの充実及び保護者参加型ガイダンスを実施する
  - ①インターンシップを充実させ参加率アップを図る
  - ②学生と保護者の意志疎通を促すため、保護者参加型就職ガイダンスを実施する
- (2) 就職率を向上させる
  - ①昨年度を上回る就職率の達成を目標とする

#### 5. 入試制度の変更、入試広報及び入試実施方法を見直し、平成 29 年度の志願者数 10,000 名を目指す

- (1) 入試制度の変更、新規導入及び複数出願制度を変更する
- (2) 入試独自説明会における開催地区の変更により参加高校教員を増やす
  - ①高校教員対象・独自進学説明会を実施する
- (3) 入試実施会場を拡大する
  - ①地方入試会場を増設する（公募推薦前期、一般前期入試）
- (4) DM 等により広報を拡大する
- (5) アドミッションオフィスを設置する
- (6) 編入学定員を見直す

#### 6. 大阪産業大学附属高校及び大阪桐蔭高校との高大接続の推進

- (1) 内部推薦制度の整備と充実を図る
- (2) 学園施設の有効活用により、高大クラブ活動の充実、強化を図る

## ■ 大阪産業大学附属中学校・高等学校

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」は、平凡な日常生活をきちんと送っていくことこそ偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。

日常生活の大切さ、努力の重要さを説く「偉大なる平凡人たれ」の建学の精神は、今、本校の次のような姿に現れています。

挨拶する声が響きあう学校。

夜遅くまで自習室で学習する生徒。

朝早くから自主練習に励むクラブ員。

生徒一人ひとりの努力をもっと励ましていける学校をつくっていきます。

[教育の実践目標]

- 建学の精神「偉大なる平凡人たれ」のもと、グローバルな視野を持つ国際人を育てます。
- 学習意欲を培い進路の保障（進学・就職の保障）に万全を期します。
- 人として健やかに生きていくための人権教育に力を尽くします。
- 文化、スポーツの高揚をはかり、豊かな感性、強靱な精神力と体力を養います。
- 「与える教育」から「考えさせる教育」へ。

### 1. 建学の精神「偉大なる平凡人たれ」を具体化した教育の実践

- (1) 生徒一人ひとりが活躍できる場を設定し、自己肯定感を高めさせる
  - ①設置する2科・5(6)コースの独自性を明確に打ち出す
  - ②年間行事を見直し生徒が活躍する場を増やす
  - ③孔子学院との連携を強め、中国への研修旅行の実施に向けて検討を進める
- (2) マナー指導を強化し、学校のイメージアップに繋げる
  - ①毎学期に教員による登下校指導を実施し、通学マナーの指導を強める
  - ②生徒会、クラブ員による「挨拶運動」「清掃活動」をサポートする
- (3) 大阪産業大学との高大接続を推進する
  - ①教学委員会・高大連携会議を通じて内部推薦制度の整備・充実を図る
  - ②大阪産業大学見学会・模擬授業・エルダーによる講話等により、生徒・保護者への広報を強める
  - ③大阪産業大学への専願合格者の増加を目指す（平成27年度143名24%、平成28年度155名28%）
- (4) 進路指導を充実させ、進学・就職へのサポートを強化する
  - ①進学対策として、「学習合宿」「小論文講座」「面接指導」を実施する
  - ②他大学への進学で、平成28年度実績を上回る結果を目指す
  - ③近隣施設の協力を得て、「保育実習」「介護体験」等 キャリア教育を実施する

(5) 教員・生徒の自己検証の機会を設ける

- ①「授業アンケート」「自己評価アンケート」を実施（3学期）する
- ②「学校関係者評価委員会」を開催（2学期）し、客観的な評価を受ける

## 2. 課外活動の活性化

(1) 運動部・文化部全クラブのレベルアップを図り平成28年度実績を上回る結果を目指す

(2) 「強化指定クラブ」の中で特にアメリカンフットボール部・ラグビー部・バレーボール部の全国大会出場を目指す

- ①校内外の練習環境の整備を進める
- ②外部指導者を含めて、指導者間の情報交換を進め、指導力の向上に努める
- ③奨学金制度の有効活用により、優秀な生徒を獲得する

(3) 吹奏楽部の各種コンクールでの上位入賞を目指す

- ①練習環境の整備（練習場所の確保・楽器の補充）を進める
- ②奨学金制度の有効活用により、優秀な生徒を獲得する

## 3. 管理運営体制の充実

(1) 財政の安定化を図る

- ①財政安定化のため、入学者数の確保を目指す（中学70名・高校760名）

(2) 施設・設備の充実を図る

- ①1号館耐震工事を進める
- ②グラウンドの整備（人工芝のメンテナンス・防球ネットの補修）を実施する

(3) 防災・安全対策を推進する

- ①防災訓練・交通安全講習会を実施し、意識の向上を図る
- ②消防設備の点検と改修を進め、防災備品の備蓄を充実させる



## ■ 大阪桐蔭中学校・高等学校

---

### [教育の実践目標]

- 建学の精神「偉大なる平凡人たれ」と、桐蔭の教育方針「鼎立なりて碩量を育む」のもと、徳・知・体一体となった教育の充実を図ります。
- 生徒一人ひとりが希望する進路、目標、自己実現の達成できる学校となります。
- 中高一貫6ヶ年、高校3ヶ年それぞれのコースに応じた教育カリキュラム、また、設置するⅠ類・Ⅱ類・Ⅲ類のコース教育の特性を一層伸長させます。
- 大阪桐蔭をして日本を代表する中等教育機関としての地位を確立します。

### 1. 優秀な中学生・高校生の確保

- (1) 大阪桐蔭が掲げる「挑戦する教育」についてしっかりと情報発信することにより優秀な生徒を確保する
  - ①広報活動を活発に行う
  - ②奨学金制度を有効に活用し、優秀な生徒を確保する
  - ③きめ細やかな指導を行う
  - ④メディアによる広報活動を取り入れ、学校のイメージアップを図る

### 2. 難関国公立大学及び医学部医学科への進学実績向上

- (1) 東京大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、国公立大医学部医学科に、150名の合格を目指す
  - ①教員の指導力向上
  - ②ICTを活用した効果的な授業を取り入れる

### 3. 高等学校Ⅲ類クラブの全国レベルの大会での活躍

- (1) Ⅲ類全クラブの全国大会出場を目指し、これらの活躍によるイメージアップを図り、受験者数増に繋げる
  - 野 球 部：春・夏の甲子園大会にて全国制覇を目指す
  - ラグビー部：花園ラグビー場での全国制覇を目指す
  - 吹奏楽部：全日本吹奏楽コンクール金賞をはじめとする各種コンテストでの入賞と、地方や各種施設での演奏により地域社会への貢献を目指す
- ①練習に集中できる施設・設備を維持する
- (2) Ⅲ類クラブと大阪産業大学との高大接続を推進する

#### 4. 管理運営体制の充実

(1) 経験値で行われていた業務について、可能なものはマニュアル化・システム化し、業務のルール化・効率化を図ると共に、教員及び事務職員に対してコンプライアンス遵守を徹底する

- ①財政安定化のため、学則定員の在校生数を確保する（中学 600 名・高校 2,160 名）
- ②各種規程やマニュアルを整備・周知し、コンプライアンスの遵守を徹底する
- ③老朽化施設・設備等の改修と法令に基づく消防設備等の点検と改修を行う

## ■ 法人本部

### 1. 「学園財政収支改善計画」に基づき、平成 32 年度末での収支均衡（基本金組入前収支差額の黒字化）

- (1) 財政健全化に向け関係部署と協力し諸政策を推進する
  - ①教育活動収入を維持するため志願者の増加を図り入学者を確保する
  - ②数値目標を設定し離学率の改善に努める
  - ③奨学費支出の削減について検討しまとめる
  - ④固定資産処分差額の削減に向けた検証を行う
  - ⑤光熱費削減に向け検討・取りまとめを行い実施する
  - ⑥休学者からの在籍料の徴収について検討しまとめる
  - ⑦カリキュラムの開講コマ数における適正化について検討しまとめる

### 2. 「学園創立 90 周年(平成 30 年)記念事業」に向けた取り組みの推進

- (1) 募金活動、記念式典の計画、記念誌の作成を開始する
  - ①募金活動を実施する（目標金額 200,000 千円）
  - ②記念式典、祝賀会の計画及び記念誌の作成に着手する
- (2) 学園創立 100 周年を見据えた長期ビジョン「学校法人大阪産業大学 Vision100（仮称）」の策定を推進する
  - ①記念事業の一環として、学園創立 100 周年(平成 40 年)を見据えた各機関及び学園としての長期ビジョンを策定する

### 3. 安全・安心な教育・研究環境の整備・推進

- (1) 災害時に備えた校舎等の整備を行う
  - ①各建物における安全・安心な環境整備に関する工事等を計画的に実施する
  - ②防災備品、備蓄食料を確保する（備蓄品数量を決め平成 32 年度まで段階的に整備）

### 4. 学園における内部統制の充実、ガバナンス強化と共に、コンプライアンスに基づく適切な学園運営

- (1) 学園諸規程の点検整備及び業務改革案を提言する
  - ①「意思決定」「情報管理」「服務規程」「会計・経理・財務報告・調達・購買」に関わる重要規程の制定・改定等を推進すると共に業務改革案を提言する
- (2) コンプライアンス意識の向上を目指した研修等、継続的な取り組みを実施する
  - ①階層別研修等を含め継続的に実施する

### 5. 「大阪産業大学環境マネジメントシステム（OSU-EMS）」の推進

- (1) 各建物の電気・ガスの使用量及び各部署の紙の使用量を毎月調査し、前年度比 2%減を目指し取り組む

- ①〔10月:半期の振り返り〕平成29年度の削減目標値及び取り組み内容に基づき、各部署で実施した「環境負荷低減項目」について、平成29年度の間接報告を行うと共に進捗状況を確認、必要であれば軌道修正を行う
- ②〔3月:1年間の振り返り〕各部署で実施した「環境負荷低減項目」について、平成29年度の年間報告及び一年間の総括を行う

## 6. 活力のある職場作りのため、新しい人事制度の導入

- (1) 目標管理・面談制度を構築する
  - ①事務職員を対象とした目標管理及び面談制度を導入する
  - ②PDCAサイクルによる職員の能力向上・職業人としての成長を促し、組織力の向上を図る
  - ③部目標・課目標の策定及びこれに基づく個人目標を策定する
  - ④管理職において部下育成目標を策定する
  - ⑤フィードバック面談（目標面談・中間面談・期末面談）を実施する
- (2) 人事評価制度の導入準備を行う
  - ①公正な評価基準の策定を行う
  - ②管理職に対する評価者研修を複数回実施する

## 7. 梅田サテライトキャンパスの充実

- (1) サテライト機能を充実させる